

次に狙われるのはあなたかも 今こそ防犯対策を

全国各地で特殊詐欺や侵入窃盗の被害が後を絶たない状況ですが、近頃町内でも被害が発生しています。

今月は、犯罪の手口や北海道内の被害状況、警察の取り組み、日常生活で気を付けるポイントなどを紹介します。

この機会に、防犯対策を見直してみましょう。

一瞬の油断で狙われる侵入窃盗

侵入窃盗とは、住宅や商業施設へ不法に侵入し、財産を盗む犯罪です。犯人は無施錠の状態を狙ったり、窓やドアを壊すなどして侵入し、貴重品や現金を持ち去ります。

令和6年1月から12月における侵入窃盗の認知件数は、全道で357件、札幌方面北警察署管内で47件でした。

空き巣や居空^{いあ}きは昼夜問わず発生し、忍び込みは深夜帯に発生することが多いです。

犯人は事前に下見を行い、自分の得意な手口を使えるか確認してから犯行に及ぶことが多いため、普段から防犯意識を高めることが重要です、

侵入窃盗は、以下の3通りに分類されます。

(札幌方面北警察署提供)

空き巣

不在中の住宅に侵入し、金品を盗む手口。

全道 310件
北署管内 41件

居空き

在宅中に侵入し、隙をついて金品を盗む手口。

全道 5件
北署管内 1件

忍び込み

夜間の就寝中に住宅へ侵入し、金品を盗む手口。

全道 42件
北署管内 5件



5分が境目に！

(財)都市防犯研究センターによると犯人が侵入をあきらめる時間は、5分を超えると約7割になります。

また、被害の半数近くは、無施錠の家です。きちんと施錠をし、侵入に時間をかけさせましょう。

多様化する特殊詐欺の手口

特殊詐欺とは、犯人が電話をかけるなどして対面することなく、親族や公共機関の職員等を名乗って被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードを騙し取ったり、医療費の還付金が受け取れるなどと言ってATMを操作させ、犯人の口座に送金させる犯罪の総称です。

令和6年1月から12月における特殊詐欺の認知件数は、198件と前年に比べて38件増加し、被害額は約7億7千万円で、前年に比べて約2億円増加しました。

特殊詐欺の手口は以下の10通りに分類されます。
(北海道警察ホームページ参照)

オレオレ詐欺

子や孫になりすました犯人から電話があり、トラブルを装い金銭をだまし取る詐欺。

認知件数 198件
被害額 767,307千円

架空料金請求詐欺

未払い料金やウイルス感染を口実に金銭をだまし取る詐欺。

認知件数 73件
被害額 165,999千円

還付金詐欺

役所職員を装い、税金等の還付金があると言って、ATMを操作させ、金銭をだまし取る詐欺。

認知件数 21件
被害額 33,268千円

預貯金詐欺

警察官や銀行職員を名乗り、暗証番号を聞き出しキャッシュカードをだまし取る詐欺。

認知件数 13件
被害額 12,389千円

融資保証金詐欺

簡単に融資が受けられると信じ込ませ、保証金を要求して金銭をだまし取る詐欺。

認知件数 9件
被害額 3,598千円

キャッシュカード詐欺盗

警察官や銀行員を名乗り、キャッシュカードの確認などと嘘の説明をし、カードや通帳をだまし取る詐欺。

認知件数 2件
被害額 1,000千円

金融商品詐欺

価値のない未公開株や高価な物品をもうかると信じ込ませ、購入代金をだまし取る詐欺。

認知件数 2件
被害額 5,009千円

交際あっせん詐欺

雑誌やメールで女性紹介を宣伝し、会員登録料金や保証金を要求して金銭をだまし取る詐欺。

認知件数 1件
被害額 1,145千円

ギャンブル詐欺

雑誌やメールで「パチンコ打ち子募集」などを宣伝し、会員登録料や情報料をだまし取る詐欺。

認知件数 0件
被害額 0円

その他の特殊詐欺

以上9つの類型に該当しない特殊詐欺。

認知件数 17件
被害額 34,323千円

当別町の安心・安全のために

特殊詐欺や侵入窃盗の被害状況や特徴、日常生活で気を付けるポイント、対策について、札幌方面北警察署 当別交番 鶴野陽三所長にお話を伺いました。

特殊詐欺被害者の年齢層や性別

道内の令和6年の特殊詐欺の被害者は、65歳以上が82人、64歳以下が116人で、男女別では、男性78人、女性120人でした。

予貯金詐欺や還付金詐欺は女性が、融資保証金詐欺は男性の被害率が高い傾向にあります。

最近増加している詐欺の手口や特徴

実際に存在する会社であるNTTファイナンスを装った架空料金請求詐欺が増えています。

電話がかかってきて「通信料金が未納」「訴訟手続きが進行中」であるといったことを自動音声で流し、ガイダンスに従って操作をすると、指定された口座への振り込みや電子マネーの送金を要求されます。

自分から電話をかけて自動音声流れることはありますが、相手側からかかってきた電話で流れることはほとんどありません。電話に出て自動音声であれば、詐欺への疑いを持ってください。

また、銀行が閉まる直前のタイミングで電話をかけてきて、時間がないから早く振り込むように、急かされることもあります。慌てずに一旦電話を切って、警察や金融機関、周囲の人に相談してください。金融機関の方は、詐欺被害への水際対策として教育を受けているので、相談することで、これは詐欺ではないかと気付いてくれます。

どこに相談して良いかわからないときは、警察相談ダイヤルへ電話をしてください。



札幌方面北警察署 当別交番
鶴野陽三 所長

警察の取り組み

パトロールの他に、高齢独居の方などのご自宅を一軒一軒訪問して防犯指導やチラシを配る「巡回連絡」や、市町村や町内会の依頼に基づいて防犯に関する講話を行うなど、防犯の啓発に務めています。

他人事だとは思わずに！

詐欺や犯罪のニュースは毎日のように報道されていますが、これらは誰にでも起こり得ることで、自分には関係ないと思わずに、関心を持ってニュースを見ていただきたいです。

実際に詐欺のメールや電話が来ることは多く、携帯を持っているほとんどの人が被害者となる可能性があります。犯罪は他人事ではありません。いざという時に慌てないため、日頃から防犯意識を高めることが重要です。

お気軽に警察へ相談してください

何か不安なことがあれば警察相談ダイヤル、交番、警察署へ相談してください。

緊急の場合は迷わず110番通報をしてください。

警察相談ダイヤル

#9110

犯罪や事故に当たるのか分からないけれど、警察に相談したいことがある場合や最寄りの警察署にある相談窓口へ直接出向かず、電話で相談したい場合は、警察相談ダイヤルをご利用ください。

当別交番

0133-23-2151

札幌方面北警察署

011-727-0110

今からできる防犯対策

特殊詐欺や侵入窃盗に対して、日常生活で気を付けるべきポイントや防犯対策についてお伝えします。

犯人へ隙を見せないことが、私たちの安全に繋がります。ひとりが意識して行動すると、ひいては地域全体の防犯力向上にもなります。



鶴野所長



詐欺の入口からシャットアウト

- ・ナンバーディスプレイや留守番電話機能を活用し、知らない番号からの着信には出ないようにしましょう。
- ・国際電話を用いた詐欺が増加しているため、「+」から始まる番号は注意してください。



お金の話はまず相談を！

- ・役所や警察と名乗っていても、お金の話が出たらまずは警察や金融機関、家族に相談をしましょう。
- ・役所や警察がキャッシュカードをお預かりすることや暗証番号を聞くことはありません。



短時間の外出でも必ず施錠を！

- ・犯人は一瞬の隙を狙って侵入します。ゴミ投げや雪がきなどで短時間の外出であっても、必ず鍵をかけましょう。
- ・家にいるときも鍵をかける癖をつけてください。



防犯用品などで犯人の嫌がる状況に

- ・防犯ガラスや防犯フィルムなどを活用し時間をかけさせることで犯人が侵入を諦める確率が高まります。
- ・犯人は気付かれる要因となる音や光を嫌います。センサーライトや防犯砂利の設置が効果的です。
- ・証拠を残せる防犯カメラや録画機能付きインターホンをつけましょう。
- ・家の周りや庭に物やゴミが放置されていると、隠れ場所になることや管理が杜撰な建物であることから狙われやすくなるので、綺麗に片付けておきましょう。



アプリで犯罪被害の未然防止

北海道警察では、公式防犯アプリ「ほくとポリス」をリリースしています。

北海道内の犯罪、不審者、特殊詐欺の発生箇所をマップで確認できるほか、防犯メールによる被害防止対策に関する情報の発信、防犯ブザー・ちかん対策など防犯機能の提供をしています。

この機会にぜひインストールしてご利用ください。

北海道警察
公式防犯アプリ
ほくとポリス→



ほくとポリス利用画面



マップで犯罪の位置を確認